

1 納期逼迫時の代替センサーを 2000PRO へ接続する

1.1 本書について

データロガー2000Pro に、通常のヒーター付き風向センサーおよび気圧センサーに代わり接続する代替センサーについて説明する。

1.2 THIES COMPACT 風向センサー (4.3129.60.773)

設置

φ29mm の穴に上からはまる。

下からのナットはトルク 6Nm 必要。

φ35-50mm 管に取り付けブラケット (下図別売) あり

ヒーター電源は AC/DC24V, 20W

接続

ロガー2000J チャンネル:

16-19 (P-SCM なし)

21-26 (P-SCM#9132)

ピン番号→ロガー端子

1→EXC

2→GND

3→SIG/SIG(+)

4→GND

シールド→SHD

以下ロガー端子とは別

5→ヒーター電源

6→ヒーター電源

7 使わない



チャンネル設定

- ・ EXT は constant 12V を設定 (pulse は不可)
- ・ Transfer Function は一般的に slope=72.0000 offset=0.000

次章大気圧センサーの設定図解説と、Transfer Function 以外は同じ。

1.3 R.M.Young BP 大気圧センサー（61402V）

設置

シェルターボックスの中（3/16"透明チューブの先は外に出す）

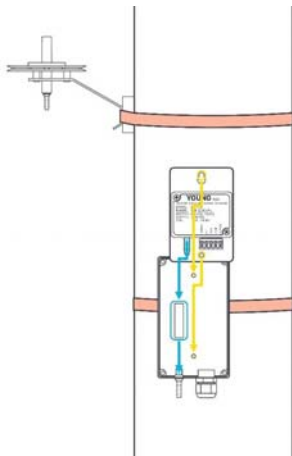
1.5m install (in SymPRO Shelter Box)



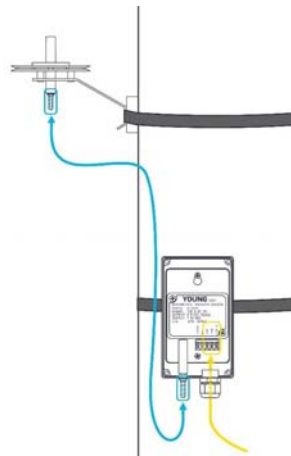
- Mounted with 2 self-tapping metal screws
- Tubing (PVC) out of cable gland at the bottom of the shelter box.

観測タワー上（別売次の取り付け部品が必要）

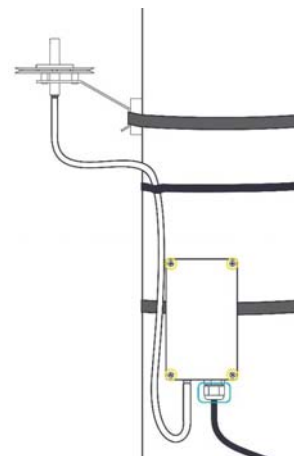
- 耐候容器
- 圧力ポートと取り付け具
- 必要な長さの3芯ケーブル



1.
ホースクランプで部品を取り付ける。
管をセンサーと容器に渡す。
セルフタップネジでセンサーを固定。



2.
管を圧力ポートと容器の口に渡す。
管をビニールテープでタワーに固定。
3芯ケーブルを引き込み結線する。



3.
3芯ケーブルの引込口をシールする。
ふたを閉めねじを締める。

接続

ロガー2000J チャンネル:

16-19 (P-SCMなし)

21-26 (P-SCM#9132)

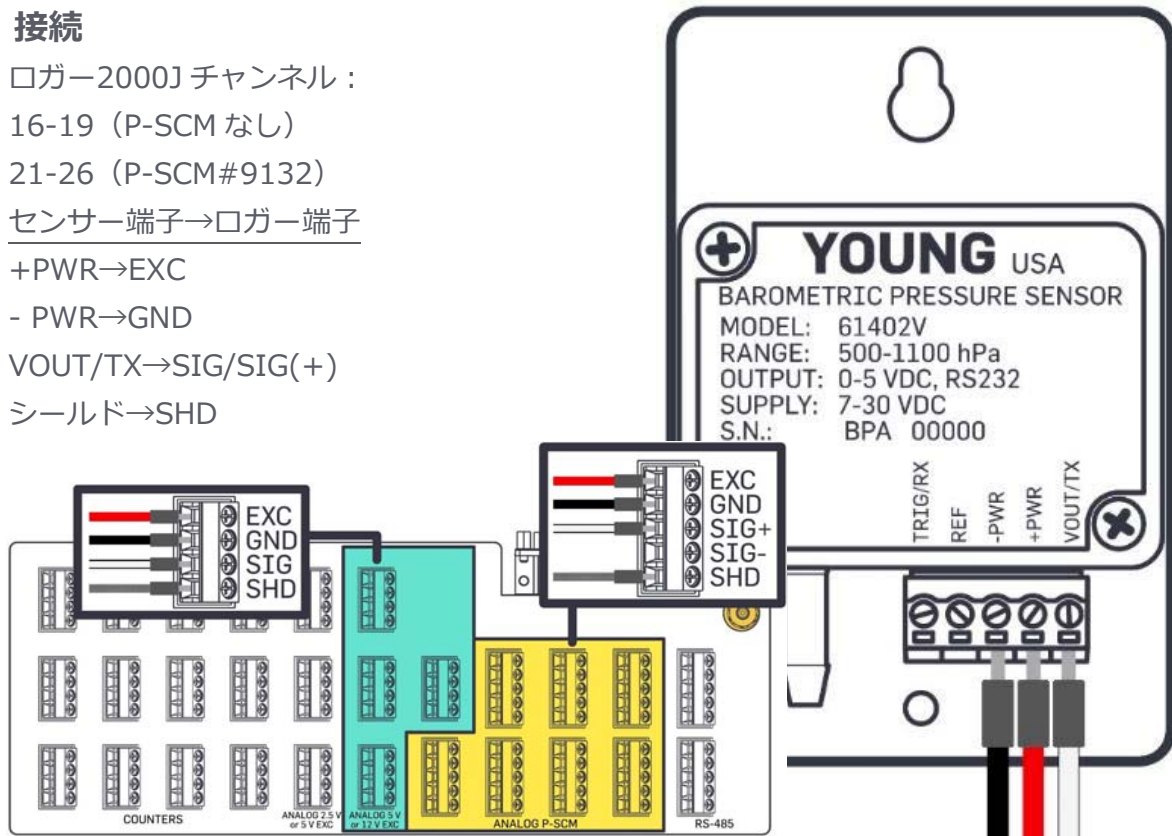
センサー端子→ロガー端子

+PWR→EXC

- PWR→GND

VOUT/TX→SIG/SIG(+)

シールド→SHD

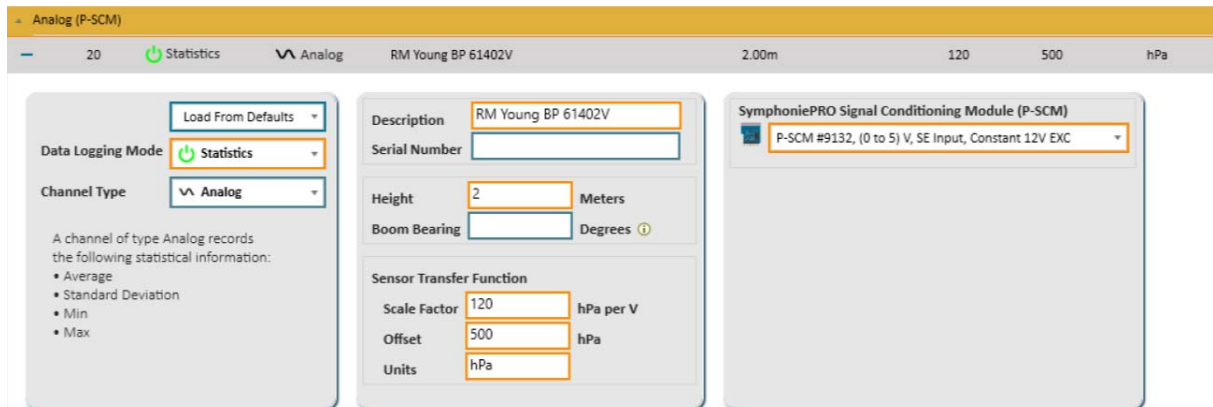


チャンネル設定

- ・ EXT は constant 12V を設定 (pulse は不可)
- ・ Transfer Function は slope=120 offset=500 (単位 hPa)

1. Data Logging Mode でドロップダウンリストから“Statistics”を選択。
2. Channel Type でドロップダウンリストから“Analog” (デフォルト) を選択。
3. Description, Serial Number, Height 等を必要あれば記入。
4. 正しい Transfer Function を間違えずに記入する。

チャンネルが 21-26 (P-SCM 必要) の場合、ドロップダウンリストから P-SCM #9132 を選択する。



以上

2022年2月15日

インター・ドメイン株式会社

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町（ごうどちょう）134
横浜ビジネスパーク ウエストタワー7F
Tel.045-459-9501
info@enecafe.com